

職場における外国籍社員との効果的なコミュニケーション実現に向けた取組

- 産学官連携で実施した「外国人留学生の就職や採用後の活躍に向けたプロジェクトチーム」での検討を踏まえ、留学生の採用プロセス及び採用後の待遇の多様化や情報発信を促すとともに、**職場における外国人材との効果的なコミュニケーションに向けた学び方に係る検討**を行うことを決定。
- **外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策**や**日本語教育の推進に関する基本方針**において受入れ側の環境整備が重要であることが明記されたほか、**成長戦略フォローアップ**等において、**日本人社員と外国人材との効果的なコミュニケーションを推進するための調査**を2020年度中に実施することが盛り込まれた。

経済財政運営と改革の基本方針 2020～危機の克服、そして新しい未来へ～（令和2年7月17日閣議決定）

ハンドブック（※）も活用して採用プロセス及び採用後の待遇の多様化や積極的な情報発信を促し、（略）希望する留学生の大多数が国内で就職し、活躍できる状況の実現を目指す。 ※「外国人留学生の採用や入社後の活躍に向けたハンドブック」（令和2年2月）

外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策（令和2年度改訂）（令和2年7月14日関係閣僚会議決定）

日本人社員の上司や同僚が外国人材との効果的なコミュニケーションを行う上でのポイントやその学ぶ手法について調査を行うとともに、企業における効果的なコンテンツや学び方の活用を検討する。〔経済産業省〕《施策番号 101》

日本語教育の推進に関する基本方針（令和2年6月23日閣議決定）

第2章 日本語教育の推進の内容に関する事項

（略）**職場等における効果的なコミュニケーションのため受入れ側の環境整備を図ることが重要**である。

成長戦略フォローアップ（令和2年7月17日閣議決定）

ア）留学生等の国内就職促進及び就職後の活躍促進のための政府横断的な取組

経済団体・企業や大学等に対し、「外国人留学生の採用や入社後の活躍に向けたハンドブック」を踏まえ、業務で求められる多様な日本語能力や専門性に応じた採用選考等の実施や積極的な情報発信を促す。また、**日本人社員と外国人材との効果的なコミュニケーションを推進するための調査**を2020年度中に実施する。

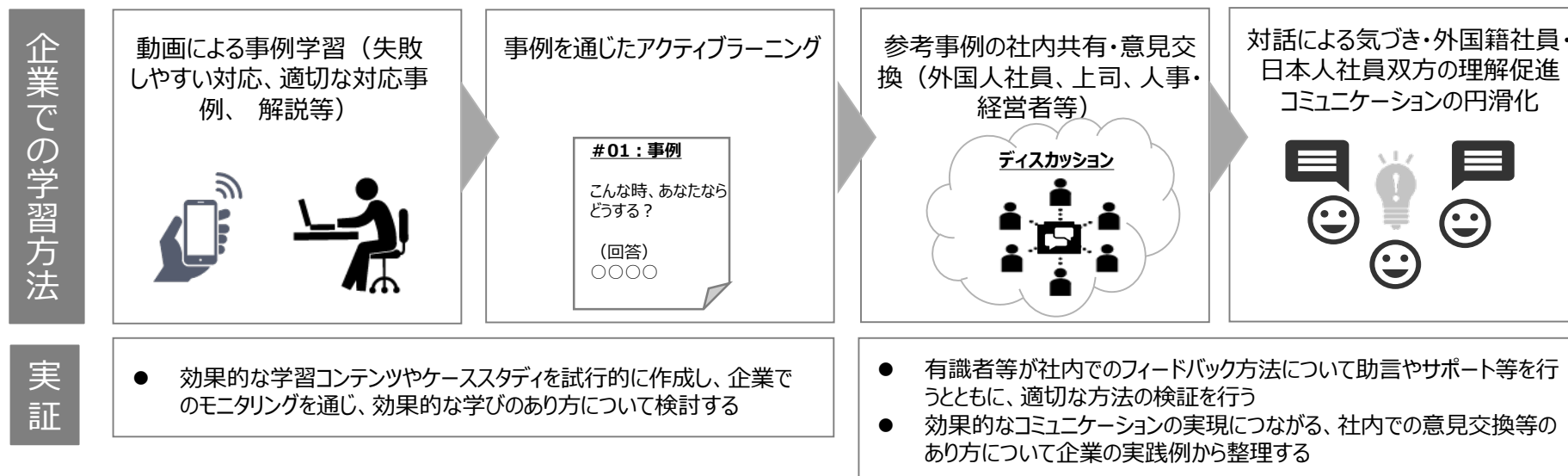


上記を踏まえ、令和2年度において、**職場における外国人材との効果的なコミュニケーション実現に向けた学びのあり方に係る調査**を実施。

職場における外国籍社員との効果的なコミュニケーション実現に向けた取組

- 職場において外国籍社員と日本人社員と円滑なコミュニケーションができる環境を整備することは重要。
- 日本人社員に向けた外国人材との効果的なコミュニケーションに係る学びの機会が限られている。
- 外国人材の活躍に向けた課題として、外国人材を受け入れる職場において、日本人独特の日本語によるハイコンテキストなビジネスコミュニケーションが弊害となっていると指摘されている。
- このため、職場における外国籍社員との効果的なコミュニケーションに向けた学びに関する実証を行い、**ウェブ上で活用できる動画教材を作成。オープンデータとして公表し、活用を促す。**

(学習のイメージ)



職場における外国人材との効果的なコミュニケーションの学び方についてポイントを整理
モデル教材を作成・オープンデータとして公表し、活用を促す

職場における外国籍社員との効果的なコミュニケーション実現に向けた取組

- 主なターゲットは外国籍社員の直属の上司や同じ職場の同僚等とするが、外国籍社員が活用する場合もコミュニケーションに有用なコンテンツとなることを想定。
- 日本人社員側が日本語や日本では当たり前と考えられる職場文化等に対する考え方・伝え方を調整する力を身につける必要があることを踏まえ、ミスコミュニケーションが生じやすい場面を想定し、動画コンテンツを作成。

動画教材のターゲット

外国人社員の直属の日本人上司や同じ職場の同僚、経営層や人事等社内（オフィス内）でのコミュニケーションを想定しているが、業種や職種、在留資格に限らず、共通する課題や場面を抽出する

動画教材の想定場面

以下の5つのカテゴリーにおいてよくある事例を抽出

- ・ 仕事に関する文化・習慣の違いから生じるミスコミュニケーション
- ・ 業務の指示や受け答えで生じるミスコミュニケーション
- ・ 評価やフィードバックで生じるミスコミュニケーション
- ・ 配属やキャリアの視点で生じるミスコミュニケーション
- ・ その他の文化・価値観の違いから生じるミスコミュニケーション

職場における外国籍社員との効果的なコミュニケーション実現に向けた取組

【学習の流れ】

- 外国籍社員と日本人社員が動画を見て、なぜミスコミュニケーションが起きるのか考える
- 自分が動画の登場人物の立場ならどうするか、相手の立場ならどうするか、意見交換
- コミュニケーションを学ぶ目的は、正解を知ることではなく、多様な考え方に触れること。そして、改めて自身を振り返り、より良いコミュニケーションの取り方を考えること。「自分ならどう伝えるか」を参加者同士で話し合うことで理解を深める。

1

動画の視聴

- 外国籍社員と日本人社員のミスコミュニケーションの事例動画を見て、なぜそれが起きるのか考える



2

ディスカッション

- 学習の手引きを参考に、自分がその立場だったらどのように伝えるか、相手の立場ならどう感じるかなどを話し合い、お互いに新たな気づきを得る(オンライン、オフラインいずれでも可)



3

解説の視聴

- 解説動画を見て、新たな気づきがあったか振り返る。

